

# 〔眼科〕

## 研修の特徴と内容

### 【特徴】

眼科専門医をめざす医師はもちろん、他科を選択する医師にも必要な知識、検査、診断、治療技術を習得する。

### 【内容】

#### ① 一般目標（G I O）

一般臨床医として眼科疾患患者のプライマリ・ケアが適切に行えるようになるため、基本的臨床能力を習得し、検査、診断、治療が速やかに行える眼科的知識、診断力、思考力、技能を身につける。

#### ② 行動目標（S B O s）

1. 問診の仕方を習得し、重要な眼科疾患の可能性を考える事ができる。
2. 眼球、眼球付属器、眼窩の解剖を理解する。
3. 視路の解剖、病変について理解する。
4. 視力、視野、色覚、屈折検査を理解、実施できる。
5. 眼位・眼球運動が診察でき、両眼視機能が理解できる。
6. 基本的眼科診察（細隙灯顕微鏡、眼底検査、眼圧検査）ができる。
7. 眼科特殊検査（蛍光眼底造影、超音波検査、光干渉断層計等）の結果を評価できる。
8. 眼科疾患の診断と治療方法を理解する。
9. 眼科顕微鏡手術の基本手技を習得し、助手ができる。
10. レーザー治療の基礎を理解し、適応が分かる。
11. 眼科救急疾患の診断、プライマリ・ケアを習得する。
12. 点眼薬を含めた眼科治療薬の基礎的な知識を習得し処方できる。
13. 点眼、洗眼、結膜下注射、異物除去、涙嚢ブジー等の眼科処置ができる。
14. 眼感染性疾患の診断、治療法を習得する。伝染性疾患の予防ができる。
15. 眼科疾患と全身疾患との関連を理解し、他科との連携が取れる。
16. 患者、家族に病状説明、インフォームドコンセントが実践できる。
17. 視覚障害者が抱える日常的・社会的問題への理解を深める。
18. チーム医療を理解し、コメディカルと適切なコミュニケーションが取れる。

#### ③ 研修内容（方略）（L S）

1. 手術症例を含む入院患者を受け持ち、指導医と基本的眼科診察（細隙灯顕微鏡、眼底検査、眼圧検査）を行い、所見記載、処置、処方等を行う。
2. 可能な限り外来では眼科特殊検査（蛍光眼底造影、超音波検査、光干渉断層計等）の実施に努め、その結果を指導医と検討する。
3. 各種専門外来（角膜、網膜硝子体、糖尿病、斜視弱視、緑内障、神経眼科、ロービジョン等）の様々な疾患を側視鏡、モニターで学び、診断技術を経験する。
4. 指導医のもとに白内障手術の洗眼・消毒、ドレーピング、麻酔など手術の流れを学び、助手として手術に参加する。
5. 救急疾患（急性閉塞隅角緑内障、外傷、網膜動脈閉塞、網膜剥離等）の病歴聴取、救急処置、手術等を指導医と行う。

#### ④ 教育に関する行事

1. カンファレンス：新入院患者の症例提示と診断、手術を含めた治療の検討を行う。入院患者の全症例提示と、治療内容、術後経過の検討。
2. 回診：入院患者の細隙灯顕微鏡・眼底所見のモニター像観察、担当医としての症例説明。
3. レクチャー：指導医によるテーマ別講義。
4. ウエットラボ：豚眼を用いての模擬白内障手術（マイクロサージェリー）。
5. 研究会：地方学会および全国学会への参加。

#### <週間スケジュール>

##### 1. カンファレンス

月曜日および金曜日 17 時～ （8号館5階カンファレンス室）

##### 2. 回診

金曜日 15 時 30 分～ （10号館6階病棟）

#### ⑤ 研修評価（E V）

##### 1. 自己評価

E P O Cを入力する。

##### 2. 指導医による評価

E P O C入力状況を用いて評価を行う。

#### 指導医等

主任教授：五味 文

教授：池田 誠宏

准教授：木村 亜紀子

講師：木村 直樹

講師：石川 裕人

講師：細谷 友雅

講師：増田 明子

助教：田片 将士

助教：中村 由美子

#### 研修実施責任者

助教：中村 由美子